

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書



※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず6ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 整備提案審査委員会には、白黒コピーを配付しますのでご注意ください。
- 資料をA4判2ページまで添付することができます。その場合、添付資料の左側に15mm以上余白を確保してください。

1 整備提案の概要について

整備提案名 (25字以内)	不便な盆地も雨水・湧き水で大変身!
提案グループ名 (25字以内)	西戸部二丁目第一自治会 わくわく倶楽部
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	西区 西戸部 町・丁目 ²
整備場所の位置 (整備場所周辺の地図をはり込んでください)	

<p>整備提案の概要 (どのような整備を提案するのか簡潔に記入してください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○まちのあちこちに雨水タンクと湧き水を使った簡易井戸を作り、防災力を強くしていきたい。 ・町内には高齢者が多く、しかも低地に住んでいる人も多い。災害時には、丘の上にある防災拠点まで行くのは難しい。被災後の生活を考えても、身近なところにだれでも使える防災施設が必要である。 ○盆地なので雨水が集まる。雨水・湧き水を利用して防災力を強くしていきたい。 ○オープンスペースが少ないので、まちかどの空いた場所や公園を利用して、防災力を強くしていきたい。
<p>整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の防災力を強くしたい。 ・斜面にある木造密集市街地である。高齢化率も高い。身近なできることから、地域の防災力を強くしていきたい。 ○地域を知り、学んだことを生かしたい。 ・いえ、みちまち事業で、平成16年から2年間で、地域を歩き学んできた経験を踏まえ、出来るところから地域を変えていきたい。 ○現在あるものを使い、連携させて防災力を強くしたい。 ・独力で雨水タンクを作り、利用している方が町内に居る。町内には井戸が3箇所あり、湧き水も多い。せせらぎをつなげ、水をまちの資源に生まれ変わらせた。 ○ものづくりを通して防災まちづくりの輪を広げたい。 ・くらしと防災に役立つものづくりを通して、町内の人との交流を深め、輪を広げたい。
<p>整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○まちに住んでいる人だれでもが使える、雨水・湧き水を利用した防災施設を作り出したい。

2 整備提案の具体的な内容について

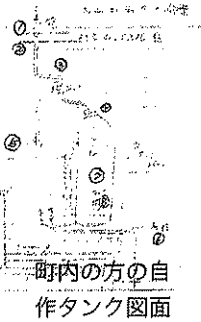
整備場所の現在の状況を写真等で示すとともに、具体的な整備の内容について文章やイメージスケッチ等で表現してください

個人宅・公共施設に雨水タンクを設置

- ・雨水タンク10ヶ所を予定
- ・自治会館に雨水タンクを設置
- ・災害時には誰もが使えるルールを

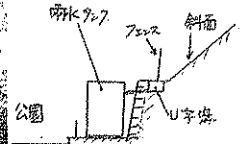


タンクは既製品の利用を予定。



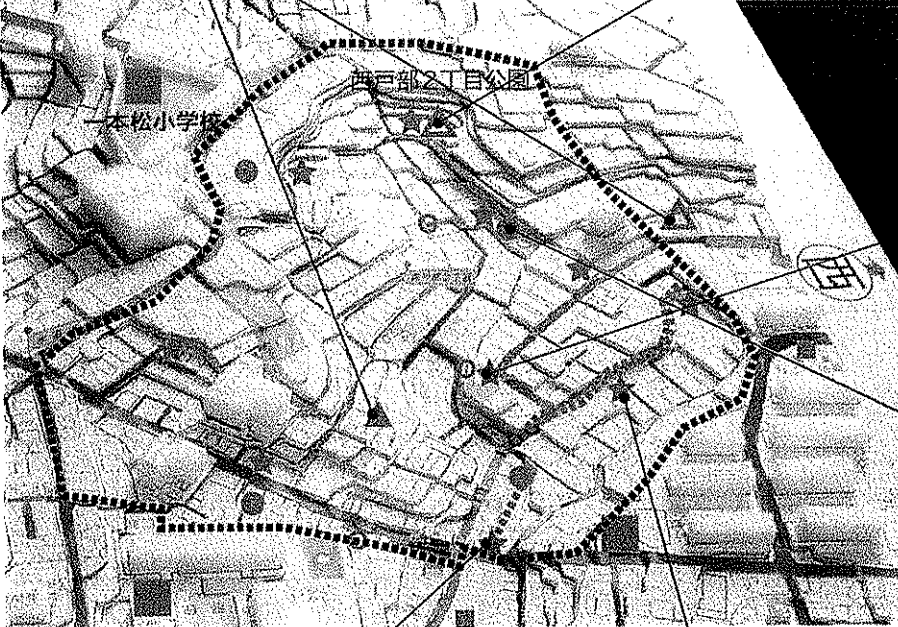
公園の防災機能を強くする

- ・斜面地の雨水を貯水
- ・簡易井戸を掘る
- ・汚水弁を利用して簡易便所を設置 (3ヶ所)
- ・炊き出し用可動簡易流台を設置



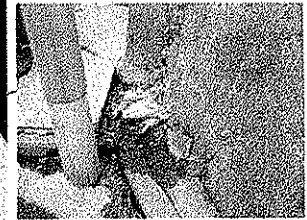
斜面の雨水を貯める

西戸部2丁目地域 敷地模型



自分たちで作った敷地模型

まちかどの使われていない場所に簡易井戸を掘る (公園、水路敷を除き2ヶ所程度)。蓋を被せ、普段はじゃまにならない。



湧水がしみ出している。

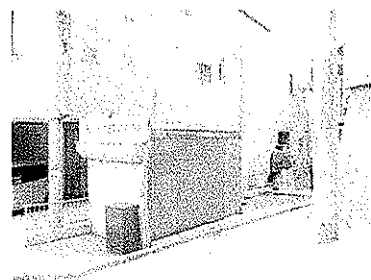
今も使われている井戸 井戸の持ち主との協力。



- 井戸 ○ 湧水 ▲ 雨水タンク ▲ 雨水タンク予定 ■ 防火水槽100t ■ 防火水槽40t
- ★ 湧水を使ったスポット (簡易井戸など) 水路敷 西戸部2丁目第1自治会区域

消防団倉庫隣接水路に湧水くみ出し口を

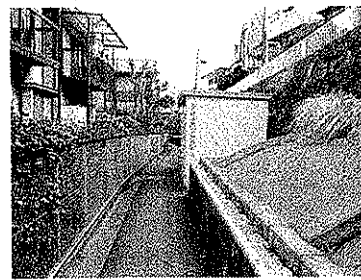
現在殆ど使われていない消防団倉庫。倉庫脇の水路敷に近くの井戸からの水が流れている。



湧水を貯める

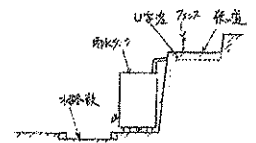
水路敷に雨水タンクを設置

- ・自治会倉庫移設跡にタンクを置く
- ・簡易井戸を掘る



坂や階段の表面水を集め貯める

場所は検討中。私道を使うことも検討。



上の道または基壇の表面水を集水。

総工事費 (概算) 約 500 万円

3 提案の創意工夫について

<p>提案内容におけるアイデアやユニークさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ みんなが無関心だった^{あまみず}雨水・^{わみず}湧き水をよみがえらせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔のまちかどには、石の防災用水があったり、まちの低いところには、井戸がたくさんあったが、今はそれも無い。防災力を強化するために、雨水・湧き水に関心を持ってもらい、それをよみがえらせた。
<p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在すでに獲得し、今回の提案で活用するもの 注4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内に自力で、廃物利用で雨水タンクを作った方がいる。バックアップをお願いする。 ○ 井戸の持ち主に協力をお願いする。 ○ 斜面なので雨水を集めやすい。湧き水も多い。
<p>提案を実現するために必要と考えられる地域の資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、現在は不足しているが今後獲得していきたいもの 注5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供を含めた地域の幅広い人に参加してもらうため、あらゆる機会をとらえて、参加を呼びかける。 ○ まちを細かく点検し、利用可能な場所や、昔、井戸だった場所などを探し出す。 ○ みんなが利用出来る雨水タンクを作るには、全てを個人や町内会で負担する事は無理がある。個人宅で作る場合は、半容負程度の補助が必要。 (みんなが利用できるルール作りを考える) ○ 市や区の協力を得たい。
<p>整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公衆の場所に設置した雨水タンクや簡易井戸の維持管理は地域で行う。 役割分担は、自治会の班単位で決めることを検討する。 ○ 個人宅雨水タンクは、個人及び自治会が共同管理する。 ○ 施設は、地域のお祭りや防災訓練で利用し、いつも使える状態にしておく。

注4)「地域の資源のうち現在すでにあるもの」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
 - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
 - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
 - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
 - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
 - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。

注5)「地域の資源のうち現在は不足しているが今後獲得していききたいもの」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
 - ・地権者の了承を得たい。
 - ・整備工を手伝ってくれる人を集めたい。
 - ・市や区の協力を得たい。
 - ・専門家の協力を得たい。
 - ・整備した施設の維持管理を行う組織を地域につくりたい。
- 「モノ」の例
 - ・整備に必要な材料を安く入手できる方法を考えたい。
- 「カネ」の例
 - ・地域でバザーを企画するなど、少しでも資金を集める方法を考えたい。

4 計画性について

整備提案を応募することについて、地権者（土地所有者、借地権者）や実質的に使用権利を持っている人、会社又は行政機関の対応状況を記入してください^{注6)}

整備提案について、西工本、消防署には、申し入れを行った段階で、今後実現に向けて話し合いを進めて行く。お1次審査後、すみやかに話し合いを進める。

注6) 事前に必ず地権者等に整備提案の内容及び1次コンテストに応募することについて説明してください。

2次コンテストに向けた活動計画（打合せ、勉強会、地権者・近隣住民・自治会町内会・関係機関への説明及び合意形成、2次コンテストの応募書類準備など）を具体的に記入してください

6 月	専門家の決定 活動助成金の交付申請 雨水・湧き水施設の見学会 地域への説明会
7 月	工作教室、おまつりなどの機会をとらえ、子供を対象にした防災学習会。
8 月	

9 月	応募書類の作成。
10 月	2次コンテスト応募書類提出
11 月	2次コンテスト発表準備。
12 月	2次コンテスト

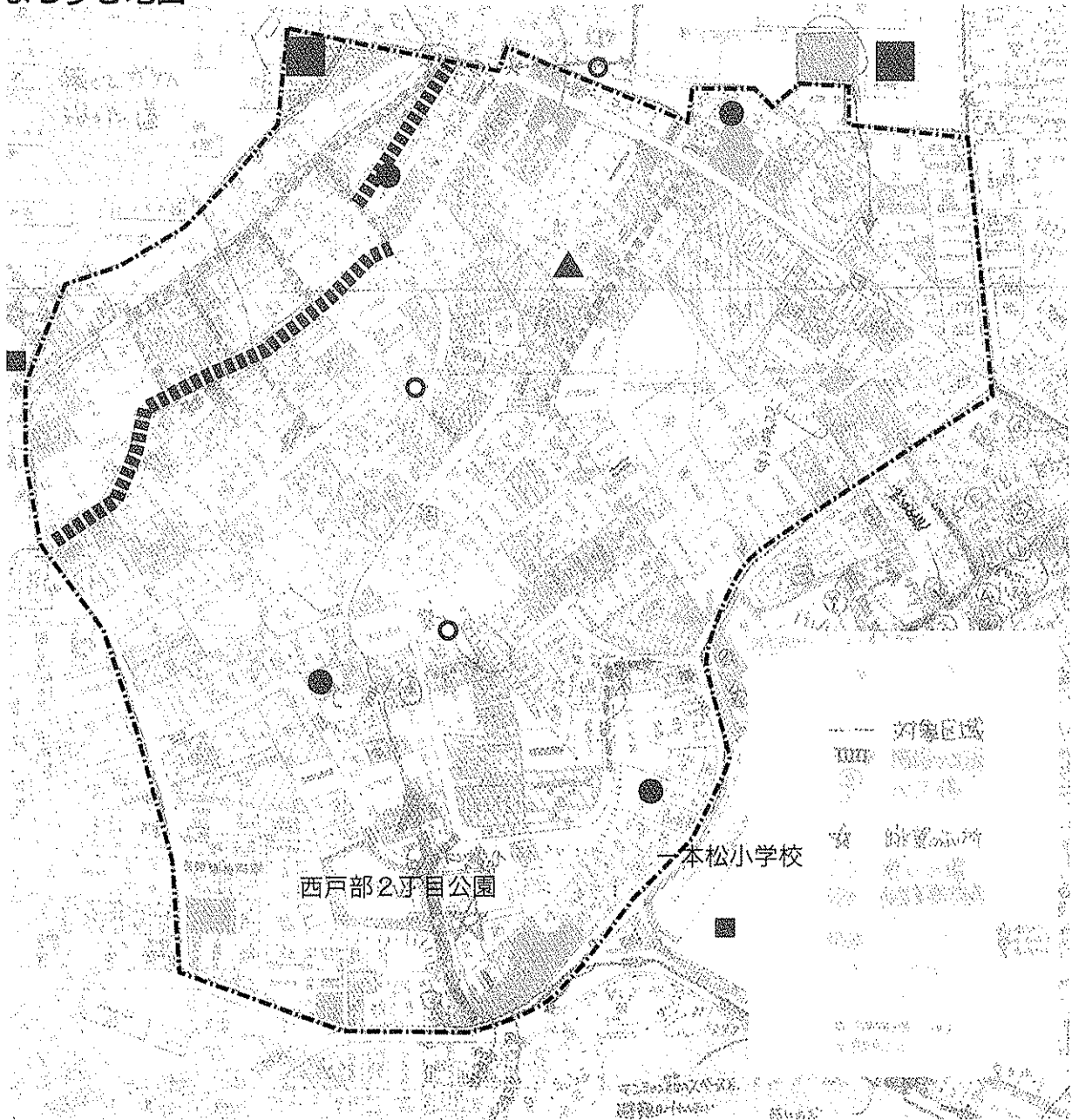
5 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、自由に記入してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 過去に火事が発生した時、みちが狭くて消防車が入らず被害が大きくなった。 道を広げるには無理がある。そこで誰もが使える、この盆地に沢山ある雨水を利用して小さな仕掛を積み重ねて、大きな安心の第一歩にしたい。
---------------------------------------	---

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

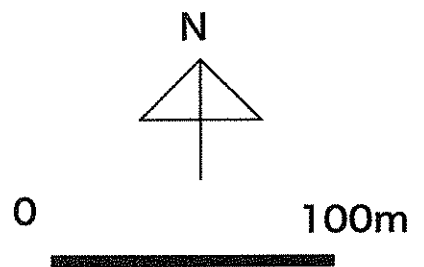
西戸部2丁目第1 いえ・みち まち改善事業勉強会
まち歩き地図



凡例

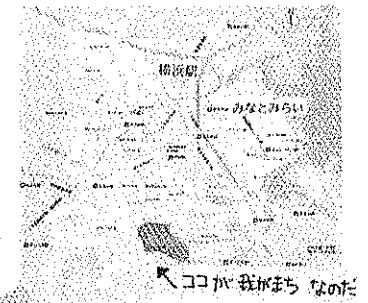
- 対象区域
- 防火水槽100t
- 防火水槽40t
- 井戸
- 湧水
- ▲ 雨水タンク
- ||||| 水路敷

みなでまち歩きをして、気が付いたことを地図に書き込みました。



西戸部2丁目第一・羽沢西部(元)まち 改善事業勉強会

(仮)一本松 まちづくり協議会



まち歩きをしてみると (H16.10.13)

階段や坂がまちに多い

細い道路が多くなりました

道の通人中に電柱が

わかまちは安全なの?

(H16.7.7)

防災上課題のある西戸部のまちを災害に強いまちにするため、自治会を中心にNPO、行政とともに勉強会を開始しました。

模型の完成

せまい道、坂が多い
避難場所へのルートが分からない

まちの地形模型が必要

水を通り

防火山部加風

防火山部加風

防火山部加風

防火山部加風

避難ルートが分かった

避難場所まで行くのが大変

防災まちづくり学習会 (H17.7.23 青妙町公民館)

まちの地形模型づくり

模型制作に使う材料・道具

- ・スチンボード・カラー
- ・木工用ボンド・カッター・マシ
- ・1/1000の地図・色鉛筆

模型の作り方を教わる

地図から等高線を印刷する

スチンボードに地図を貼る。等高線を印刷

切り取ったスチンボードを資料袋に模型を作る

ほぼ完成